

## キジ(キジ科) 全長オス 80、メス60センチ

突然、ケーン、ケーンと甲高い鳴き声に目が覚めた。

寝ぼけ眼で時計を見ると、まだ4時30分であった。外はまだ薄暗く、やっと夜が明けた東雲(しののめ)といったところでしょうか。



小高い場所に陣取り、あたりを見渡すオス。

キジの繁殖期には、オスがケーン、ケーンと2回鳴き、激しく羽を打ち鳴らします。この時、「どどどどー」と聞こえ、自身のバランスを崩すくらい激しいものです。この行動をキジの「ホロ打ち」と言います。他のオスキジには近づくなという縄張り宣言と、メスキジに対しては、ここにいるから訪ねてきなさいとアピールしているのです。



胸を反らして大きく息をため込む。



大きな声でケーン、ケーンと2回鳴いたあと、どどどど〜と激しく羽を打ち鳴らします。ホロ打ちです。

あれから一月もなるのに、ホロ打ち行動が一日に何回も続いています。まだお相手が見つからないの？と心配していたが、一向に収まる気配がありません。

そしてある日、畑の中を歩くメスキジを追いかけるように、オスが駆け寄っていきました。一緒に餌を探すなど行動を共にし、なかなかいい雰囲気です。やっとカップルが誕生したようです。めでたし、めでたし。



地味なメス。餌を探していました。



いい雰囲気です。

それから数日間はケーン、ケーンが聞こえなくなりました。子育て作業に入ったのかと思っていましたが、再びあの甲高い声が聞こえてきたのです。

どうしたのでしょうか。フラれたのか、それとも別のオスがやってきたのだろうかなどと、家族であれやこれや勝手にその理由を探りました。

すると息子が、「あれはきび団子が欲しいと言っているんだ」との迷解説。これには座布団一枚でした。